

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つみき		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連絡を密に取っている。	連絡ノートを活用し、子どもの様子や家庭の状況を共有している。 保護者面談を半年に1回、保護者会を年に1回行っている。	定期的な面談を続けていく。 また、電話以外の連絡ツールを検討する。
2	子どもたちが楽しく通えるような活動をしている。	子ども達が楽しめるような活動や、おまつりやBBQ、遠足などのイベントを考えている。	子ども達が楽しめるような活動を職員と相談しながら考えていく。
3	広いスペース、開放的な周辺環境を備えている。	大きなスペースを要し、周辺が穏やかな場所に施設を新設移転した。	ボール遊びをする児童が増え、安全にボール遊びができる環境を整備する必要がある。 また、駐車場を拡充する計画をしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流が少ない。	地域と交流する機会がない。	おまつりやイベントに地域の方々が参加できるような仕組みを作っていく。 また、地域の児童館との交流ができるのか、調整をする必要がある。
2	支援やマニュアルについての情報発信が弱い。	情報発信が子どもの活動やお知らせがメインになっている。	支援プログラムやマニュアルなどについても情報発信していく必要がある。
3	支援の振り返りの時間が少ない。	日々の業務の中では、送迎や掃除などの活動に追われ、話し合う時間が取れていない。	毎日少しでも情報を共有する時間を確保する必要がある。 また、職員会議で集中的に職員と話し合う機会を作る必要がある。